

きっかけ創りを楽しもう！

# ふれあい北守谷

第9号 平成29年3月25日



## 北守谷は今後どうなる 守谷市議会出前懇談会より



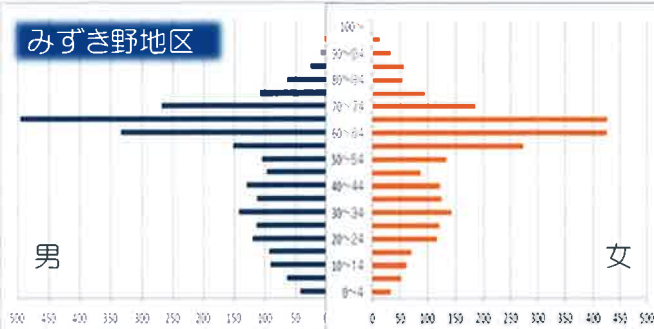
北守谷地区の年齢別人口構成を守谷市HP人口から集計してみると右のとおりです。他県や他市と同様団塊の世代を中心に北団地に入居を開始したのが昭和57年(1982年)、既に35年経ち御所ヶ丘、久保ヶ丘では70歳以上の比率がそれぞれ15%、13%となり5年後には恐らく25%以上になって行くと思われます。

北守谷全体では65歳以上が21%、70歳以上が12%、75歳以上は7%でこれは守谷市全体の人口構成とほぼ同じですが、「みずき野」地区では既に65歳以上は35%、70歳以上が18%になっています。

北守谷地区も空き家が目立って来たり、子ども会の存続が危ぶまれたり、少子高齢化社会に伴う問題が足元に迫って来ております。活気のない街には若者は住んでくれないので、今のうちに皆で出来る事をやってゆかねばなりません。

去る2月10日、守谷市議会出前懇談会が文化会館で開催されました。昨年10月に市議会出前懇談会の条例が制定され初めての懇談会取材いたしました。市からは梅木市議会議長はじめ計10名(9名の議員と事務局長)と北守谷地区の住民27名、合わせて37名が出席し多岐にわたって活発な意見交換がされました。全部で28項目の質問がありましたので、2回に分けて報告したいと思います。

年齢別人口構成 (2017.2.1 住基ベース)



守谷市議会出前懇談会

今回の主なテーマは次のとおりです。(全部で28項目の質問がありました)

- 1) 若い人に住んでもらえるようにするための施策について (今回の第9号にて)
- 2) 空き家対策について (今回の第9号にて)
- 3) 防犯、防災対策: 防災情報伝達システム、防災訓練について (次号にて)
- 4) 高齢者の運転対策、スピード制限、歩道の整備など (次号にて)
- 5) 街の活性化、買い物難民対策について 他 (次号にて)

# 出前議員懇談会の主な内容

守谷市のまちづくりは、行政経営の最上位計画として「第二次守谷市総合計画」を定めて進めています。この中に4つの戦略分野(目標)があります。

①「結婚・出産・子育ての希望を叶える環境を創る」、②「住まう場としての魅力を高めU・Jタウンを創る」、③「安定した生活を支える就労環境を創る」、④「将来にわたって持続可能な新しい「まち」を創る」  
北守谷地区で抱えている問題は全てこれらの分野と関連しておりました。

今回の質問の中で、まず初めに昨年2月に策定されました守谷市「人口ビジョン」の進捗状況を伺いました。議会では「地方創生特別委員会」を立ち上げて対応していることが分かりました。(守谷市のHPをご覧ください)

## 1.若い人に住んでもらえる様にするための施策について

Q: 我々の次世代の方が「リピーター」として戻ってこないという事は守谷市に魅力がないのか、どんな施策をしているのか？子どもを育てる費用が以前住んでいた北海道札幌市近くに比べて一人当たり2万円/月程度高くなっていますが子育て世代への環境をもっと整えて頂きたいと思えます。

A: 流山市、柏市やつくばみらい市と違う守谷市らしい特色ある施策を打つべきだという質問に対し、特に出産前から小学校に入るまでの子育てを支援する施策が守谷市では弱いので議会で追及してゆきます。(神宮議員)

A: 少子化、幼稚園の定員割れが5園あり、守谷市に公立幼稚園を新たに造るのは難しいのですが現在一人当たり2万4千円/年の補助金を出しています。(市川議員)

A: 守谷市では小中学校へ電子黒板やタブレットを導入し、また外国語指導助手を配置するなど学校教育に力を入れています。教育環境の充実により、子育て世代に魅力ある街を目指します。(堤議員)

提案: 小学校の保護者目線で見えた場合、ハード面よりもっとソフト面での支援、補助をしてゆく必要があり、幼児を抱えている若い世代に補助金を手厚くして、生活面から支援できる様に、色んな施策をトップダウンで行って頂きたいと思えます。それらにより若い世代を呼び込めると思えます。(子ども会代表、小林大井沢小PTA会長他)



A: みずき野地区では「人、まち、暮らし」の操業戦略に合致するという事で、筑波大とタイアップして、空き家に学生が住んでもらう事業を起こしました。国から3年間で450万円予算を入手、既に学生8名が3棟に住んでいます。空き家対策にも有効です。これはみずき野の自治会長から市への提案が実現したものです。自治会が主体となって提案すれば、北守谷地区でも同様の事が考えられると思えます。(高梨恭子議員)

## <介護福祉制度の改正、元気な老人が支えあう>

Q: 1947~49年生まれの団塊の世代が75歳を超えるのが2025年、社会保障費が増大します。 昨年の介護福祉制度の改正により特別養護老人ホーム(特養)への入所基準が要介護度3以上になり、要介護度1~2は地域の中での「支え合い、助け合う」ことが求められています。 どの様な事を市に具申しておりますか？

A: 医療費も限られますので地域で助け合うことが必要です。介護に関わる中で元気なお年よりがお年寄りを助ける、動けるうちに社会貢献できるような介護ポイント制度を強く進めます。(砂川議員)

A: 地域の地域力を形にした御所ヶ丘5丁目の「助け愛」クラブは良い例です。みずき野でも同様の話が出ています。(川名議員)

提案: 既に御所ヶ丘5丁目「助け愛」活動を行っている御所ヶ丘の小川さんから、「北団地内の建蔽率を40/80%から50/100%に引き上げれば、帰ってくる子どもとの二世帯住宅が建設できます。子どもが帰ってこない方は『シェアハウス』を造って助け合いながら暮らすのがベストだという結論です。守谷市にはお金をささなくてもいいので、方策を検討して欲しいと思えます。」



## <空き家対策>

Q: 空き家に対する情報が欲しい。積極的に公開して空き家の販売を促進する施策はありませんか？

Q: 近所で空き家がどんどん増えています。環境、防災にも悪影響なので行政側の対応を教えてください。

A: 市では「空き家対策協議会」を立ち上げて今年度から調査開始しました。現在空き家率は2.3%、538戸/23,422戸が空き家となっております。近所で空き家になっている場合は市の窓口で一本化された「都市計画課」に問合せしてください。住まいの環境、防犯、防災の面からも放置されている家屋について不安の声があります。草が茫々になっていても、近所や自治会で刈り取りが出来ない等問題があります。「空き家バンク」などの登録制度など検討中で近くに結論を出す方向です。(川名議員)



# 知的障害のある子どもたちとのふれあい



H29年1月7日(土) 常総運動公園の体育館でパラリンピックの公式種目ボッチャや、卓球バレーなどの障害者スポーツの体験会がありました。高野小・松ヶ丘小の子どもヘルパーさんや守谷社協のボランティアさんに見守られ、楽しい時間を過ごしました。つくばみらい市にある、伊奈特別支援学校(知的障害児教育校)に守谷市から通う児童・生徒は60名を超え、そのうち約20名が北守谷地区の子どもたちです。他市に通学していることもあり、地域社会との結びつきを失いがちですが、その克服のためにさまざまなイベントが開催されています。



ボッチャ



卓球バレー

平成28年11月6日(日)  
ぶらぶら亭のお客様とのピング大会、ミニSL

昨年3月25日発行の第5号「ふれあい北守谷」で「障害のある子どもとどう接したらいいの?」というテーマで伊奈特別支援学校のキャラバン隊公演の記事を掲載しました。皆さん、「ノーマライゼーション」という言葉を耳にされたことがありますか。日本語にすれば「正常化」となりますが、決して障害者を正常化して健常者に近づけようということではありません。障害のある人も、障害のない人と同じようなノーマルな(普通の・当たり前の)生活を送れるようにしようというものです。生まれ育った愛着のある地域で暮らしたいと考えるのはみんな同じです。障害がある人も地域の一人として受け入れ、彼らにも住みよい地域づくりを目指せば、それは赤ちゃんからお年寄りまで、どんな人にとってもやさしく暮らしやすい地域づくりとなるのではないのでしょうか。

## 出前サロンを目指して:東板戸井サロンの紹介

地域の交流・親睦・健康維持のため、出前サロンを目指し、6月から東板戸井集会所にて活動を開始しました。

<月曜日は健康マージャン> 飲まない(お酒)、吸わない(たばこ)、かけない(お金・モノ)、  
あらそわないなどを モットーにしています。

<金曜日は手芸など> 和の小物ポーチ、和服のリフォーム、編み物(毛糸で編むバッグ)など、  
集まった人同士が教えあって、お茶を飲みながら楽しんでいます。

将来は、講習会、ぱたか、出前脳トレ講座、将棋、囲碁など開催できればいいと思っています。



月曜日:第1,3 ... 10時~15時半 (祝日の場合は次の日)

金曜日:第2,4 ... 13時半~15時半

現在参加者募集しております。  
マージャン初心者の方歓迎です。  
お気軽に東板戸井集会所にお立ち寄り  
ください。

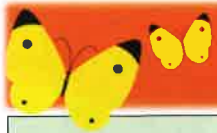
お問合せ先: 若山: 45-5670  
赤井: 45-5358



サロンの状況(手芸、マージャン)



手芸の作品の一例



# 北守谷公民館地域ふれあいまつり



第16回「北守谷公民館地域ふれあいまつり」が2月20日から26日まで北守谷公民館で開催されました。(実行委員長:村田隆さん)初日の2月20日(月)の開会式には式典に続き、学歌とダンスのコラボレーションがありました。ドルチェのコーラス、スマイルメイカーズのダンス、大井沢小学校4年生16名による応援歌の合唱には北奥ちひろ講師による振付が加わり、北守谷地区の応援歌として大変盛り上がりました。また、21日は高杉徹前常総市市長が「水害対策について」、22日には吉村秀清さんが「地方創生政策とコミュニティーの再生」について講演されました。ともに指摘されていたのは、国の新しい方針「地方創生」政策に対応して、国の予算を獲得してゆくには自立した自治組織が結束し積極的に提案してゆく力が大変重要になって来ていること、その為に住民が出来る範囲で地域のイベントに積極的に参加してゆくことだと強調されておりました。



講師の高杉徹氏

講師の吉村秀清氏

松前台小の皆さん

御所ヶ丘小の皆さん

大井沢小の皆さん

スマイルメイカーズのダンス

応援歌の振り付け

## ふれあい北守谷の行事、活動予定

平成29年4月～6月

ぶらぶら亭	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月19日～6月19日まで</li> <li>3月26日 開催100回記念 (無料飲料券 先着100名様)</li> <li>毎週日曜日: 大山公園 (但し 4月2日、9日 立沢公園)</li> <li>第1日曜日 野外コーラス</li> <li>最終日曜日 野菜販売</li> </ul>
グラウンドゴルフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>大山公園: 第1,3水曜日</li> <li>薬師台緑地公園: 毎週金曜日</li> <li>第2,4水曜日</li> <li>時間: 9時30分～12時</li> </ul>
異世代交流事業 守谷おもちゃ病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月13日(木) 10時～12時</li> <li>5月11日(木) 10時～12時</li> <li>6月8日(木) 10時～12時 (キ・ターレ児童センター)</li> </ul>
ウォーキング 防犯パトロール	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月21日(日)</li> <li>13時30分 受付開始</li> <li>14時スタート (立沢公園 噴水前)</li> </ul>
キ・ターレ 児童センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月29日(土) 交流プラザ 10th アニバーサリー</li> <li>いいじとばあばも遊ぼう! 子どもの日</li> <li>9時半～15時 (和太鼓でスタートです)</li> <li>6月10日(土) デイキャンプ(手賀沼へ)</li> </ul>

北守谷地域		人口推移(基本台帳)			2017.2.1現在	
地域	総数	男	女	世帯数	前年	同月比
久保ヶ丘	3,218	1,619	1,599	1,232	-22	
御所ヶ丘	2,956	1,487	1,469	1,273	-40	
松前台	5,760	2,856	2,904	2,274	-68	
薬師台	5,007	2,500	2,507	1,905	-6	
地域合計	16,941	8,462	8,479	6,684	-136	
北守谷人口比率	26%	25%	26%	26%		
守谷市合計	66,246	33,336	32,910	26,087	802	

編集後記: 初めて開催された議会出前懇談会の取材を通して身近な問題を皆さんと話し合う事の大事さを痛感いたしました。みずき野地区は自治会が一体となって様々な提案をしております。我々が愛する北守谷地区の問題を皆で考え提案できる機会にできればと思います。

今年度は皆さんに身近で関心の高い取材記事を中心に子ども会からシニアの方々まで貴重なご意見を聞くことが出来ました。来年度も一層充実したコミュニティー誌にしてゆきたいと思っております。

催花雨や宴の予定三つ四つ (増田)

発行者 北守谷地区地域福祉活動計画実行委員会

広報担当 鈴木、小西、江口、赤井、関山、野田、増田、 お問い合わせご意見は増田まで (090 9962 1333)